

品川区議会 公明党

会派報告

令和6年
新春号

前進する品川区政

特別支援学校の 給食費無償化

都立特別支援学校に限定していた給食費無償化の対象に国立・私立特別支援学校を追加しました。

不登校対応で マイスクール 西大井の開設

今後の増加が見込まれる不登校の児童・生徒が利用するマイスクールを令和6年5月(予定)に新規開設します。

エネルギー価格高騰で 支援金を交付

ガソリンや電気・ガスの高騰により経営難にある運送事業者と公衆浴場に支援金(10万～40万円)を交付します。

住民税非課税・均等割 のみ世帯に支援金

対象世帯に一律7万円と対象世帯の子ども(18歳まで)一人当たり5万円を給付します。

物価高騰の負担が大きい ひとり親家庭に支援金

住民税非課税・均等割のみ世帯以外のひとり親家庭に子ども(18歳まで)一人当たり5万円を給付します。

省エネルギー 設備への 更新経費助成

省エネルギーに資する設備更新経費を助成(8割、上限80万円)する予算を追加しました。



住宅確保要配慮者の 入居促進協力金

住宅を探すことが困難な高齢者・障がい者・ひとり親世帯・低所得者の入居を促進するため、不動産業者に支払う協力金の予算を追加します。

おくやみコーナーを開設

ご遺族による各種手続き等を一括して対応する専用窓口を、令和6年1月4日から区役所内に開設しました。

暮らしを支える キャッシュレスポイント還元と プレミアム付商品券

キャッシュレス決済20%ポイント還元事業とプレミアム率20%区内共通商品券発行で物価高騰による区民の負担を軽減します。都が3月実施予定のキャッシュレス決済10%ポイント還元事業の後に、切れ目のない物価高騰対策となる時期を見込んで実施します。

多胎児の保育園入所 調整指数に加点

本年4月から入園希望する多胎児の入所調整指数を2点加点しました。

福祉タクシー券の 追加支給

福祉タクシー券の受給者一人当たり6千円分を追加支給します。

子ども食堂の 食品購入費を支援

フードパントリー活動を実施している子ども食堂に区内共通商品券を配布します。

来年度予算で実施を目指す施策

高齢者インフルエンザ 予防接種無償化

高齢者インフルエンザの予防接種について現在2,500円の自己負担額を無償化。

介護従事者の 処遇改善

他の業種に比べて給与の低い介護従事者の処遇を改善。

補聴器購入費 助成の対象者拡大

住民税非課税世帯に限られている高齢者の補聴器購入費助成の対象者を拡大。

認知機能 チェックの導入

認知症の早期発見につながる「あたまの元気度チェック」を本格的に導入。

区議会公明党は、区民の皆様から寄せられた声や区内35団体との懇談会で伺った要望を会派要望247項目、団体要望348項目にまとめ、令和6年度品川区当初予算要望として、令和5年9月14日、森澤恭子品川区長に手渡しました。区長から「本当に重要な点をご要望、ご指摘をいただきました。様々な角度から、前向きに検討してまいります。」などの話がありました。



区内各種団体と意見交換（7月18日～8月1日）

区議会公明党は、区内の各種団体から区政に対するご要望・ご意見を伺い、区政に届けています。今年は新型コロナウイルス感染症が5類となり、対面での意見交換ができました。これからも各種団体の活動が区民生活の支えとなるよう区に働きかけて参ります。



【視察】兵庫県川西市の不登校児童・生徒への取り組み

令和5年11月16日に兵庫県川西市を訪れ、川西市教育委員会の不登校施策である「校内サポートルーム」を視察しました。川西市立多田中学校内のサポートルームを実際に視察しながら、品川区のマイスクールとは違う、校内フリースクールともいえる取り組みで大変に参考になりました。



区議会公明党の議会質問から

一般質問

Q 児童・生徒の歯列・咬合異常の治療に有効な歯科矯正の支援を要望する。

A 歯並びやかみ合わせの改善は歯周疾患の予防にもつながるなど歯や口の健康を保つために重要と考える。保険適用外の治療への支援については調査研究する。



Q 省エネルギー対策設備更新助成金の申請期限を延長を求める。

A 期限の延長を検討する。

Q 品川区で、骨粗鬆症検診の早期実施を求める。

A 実施に向けて協議を進めていく。

Q 火災による被災者の住まいについて、従前居住者用住宅を日常生活用品の準備を行った上で中長期的に提供を求める。

A 条例に基づき使用料の減免措置が可能。災害時の入居期間を数か月程度に延長することを検討。日常生活用品については、今後の研究課題とする。

Q 物価高騰の負担軽減策としてキャッシュレス決済ポイント還元の実施を求める。

A 他自治体の動向等を注視し、検討を行う。

Q 区のホームページに女性の健康のコンテンツを設け、更年期について情報発信を要望する。

A 区ホームページの内容を充実していく。

Q 孤食対策としてシニア食堂の実施を求める。

A 実施については支援の在り方を検証する。また孤独・孤立対策事業を推進する中で孤食を課題の一つとして取り組む。



Q AEDのコンビニエンスストアへの設置を求める。

A 今年度コンビニ事業者との設置の協議を始めたところであり、設置拡大に取り組む。

Q 匿名・流動型犯罪グループや悪質業者から区民を守るため録画機能つきインターホン活用の支援を要望する。

A 録画機能つきインターホン等の設置を防犯対策として検討する。

決算総括質疑

Q 介護人材の処遇改善の取り組みを求める。

A 厳しい状況に鑑み、確保と定着の方策を検討する。

Q 若年層や物忘れの訴えない方が受ける「あたまの元気度チェック」の本格的導入を求める。

A 認知症の意識や早期発見・早期対応に効果が見込まれ、早期導入を検討する。

Q 補聴器購入費助成所得制限撤廃と高齢者インフルエンザワクチン接種費用の無償化を求める。

A 補聴器の助成申請数は想定以上で、健康寿命延伸へ検討を進め、ワクチン接種費用の無償化についても検討する。



Q 孤独・孤立対策において、医師会との調整の前提の上で、医療の現場で寄せられるご相談に対し、支え愛・ほっとステーションとの連携や社会福祉士の活用など、地域福祉的なご相談への支援策を要望する。

A 医師会などを通じて、支え愛・ほっとステーションに在籍する、社会福祉士の資格を持つコーディネーターを紹介するなど、地域福祉、そして地域資源の情報共有に努める。

公明党の
区議会議員



若林 ひろき



こんの 孝子



塚本 よしひろ



あくつ 広王



つる 伸一郎



新妻 さえ子



ゆきた 政春

皆さまの声をお聞かせください。お気軽に、ご意見・ご要望をお寄せください。

電話 03(5742)6817 FAX 03(3774)3366 Eメール info@shinagawa-komei.org